

総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

電力需給検証小委員会 第1回会合

資料5

# 今回の電力需給検証の進め方について

# 1. 電力需給検証の体制図

電力需給に関する検討会合  
(平成23年3月13日内閣総理大臣決裁)

座長 : 官房長官  
座長代行 : 経済産業大臣  
構成員 : 総理を除く全閣僚



電力需給対策  
を決定



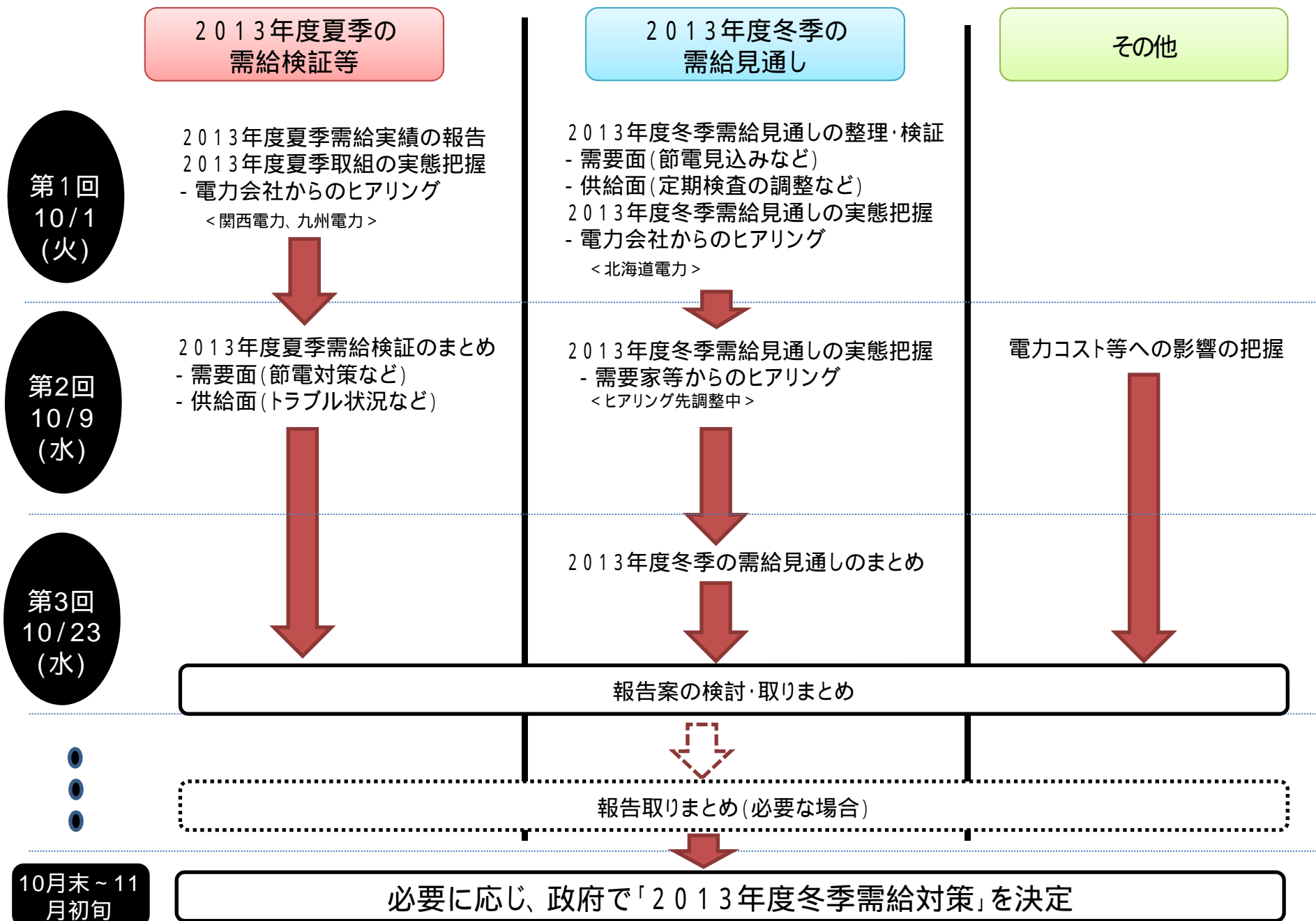
総合資源エネルギー調査会基本政策分科会  
電力需給検証小委員会

小委員長 : 柏木 孝夫(東京工業大学 特命教授)  
委員 : 秋元 圭吾((公財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー)  
植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科 教授)  
大山 力(横浜国立大学大学院工学研究院 教授)  
鯉沼 晃((一社)日本経済団体連合会 資源・エネルギー対策委員会企画部会長)  
清水 宏和(日本商工会議所 中小企業政策専門委員)  
辰巳 菊子((公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問)  
中上 英俊((株)住環境計画研究所 代表取締役会長)  
松村 敏弘(東京大学社会科学研究所 教授)



電力需給見通  
しを検証

## 2. 検討項目について



### 3. 電力需給の検証に関する主要論点の例

#### 【2013年度夏季の需給の検証】

供給面	<p>供給力は、想定したものと比べてどうであったか。</p> <p>火力は、どの程度の供給力であったか。供給に重大な影響を与える計画外停止等の状況はどうか。</p> <p>水力や再生可能エネルギーによる供給力はどうか。過大又は過小の見通しとなっていなかったか。</p> <p>供給面でどのような取り組みがなされたか。</p>
需要面	<p>2013年度夏季の需要は、定着節電の目安と比べてどの程度減少(2010年度比)したか。</p> <p>需要減少は分野によってばらつきはあるか。需要減少となった主な要因は何か。</p> <p>今回の節電要請は、社会経済活動にどのような影響を及ぼしたか。</p> <p>いわゆる定着節電がどの程度進んだか。</p> <p>需要対策としてどのような取り組みがなされたか。</p>

#### 【2013年度冬季の需給見通し】

供給面	<p>火力の定期検査、計画外停止等による影響はどの程度か。</p> <p>長期停止・被災火力の再稼働、緊急設置電源等による出力増、自家発からの購入増、再生可能エネルギーの更なる供給等による供給力の増加は見込めるか。</p> <p>電力融通の見込みはどうか。</p> <p>大規模の電源脱落リスクについてどのように考えるか。</p>
需要面	<p>2013年度冬季の経済見通し、気温影響の見込みはどうか。</p> <p>いわゆる定着節電をどの程度見込むのか。</p> <p>需給調整契約など需要サイドの対策の見込みはどうか。さらなる工夫の余地はないか。</p>